

周南医療圏地域医療構想病床機能検討部会（平成30年度第1回）議事概要

【日時】平成30年8月9日（木）15:30～16:40

【場所】山口県周南総合庁舎703会議室

【出席者】市医師会関係者、病院・有床診療所関係者 等

- 平成30年度検討部会の協議の進め方及び調整会議の取組促進に係る対応について説明を行った。
- 平成29年度病床機能報告結果を踏まえた各圏域のデータ分析及び当圏域の状況等を説明の上、公的医療機関等について、地域医療構想の達成に向けた対応方針を協議した。
- 今年度の医療機能分化連携推進事業に関する、設備整備の申請案件について、該当病院から事業の内容や目的等について説明した上で、部会として、地域の目指す方向性に合致しており、圏域の回復期機能を充実させるため必要との意見で合意した。

【議事内容】

1 平成30年度検討部会について

県医療政策課から、平成30年度検討部会の協議の進め方及びスケジュールについて説明を行った。

（主な意見・質問等）

特に意見・質問等はなし

2 調整会議の取組促進に係る対応について

県医療政策課から、国の通知を踏まえた地域医療構想調整会議における対応について説明を行った。

（主な意見・質問等）

特に意見・質問等はなし

3 平成29年度病床機能報告の結果等について

県医療政策課から、平成29年度病床機能報告の結果等について説明を行うとともに、平成30年度からの病床機能報告において、保険点数による医療機能分類を参考に、医療機能を選択する取扱いが示された。

(主な意見・質問等)

○6年後の病床機能の予定において、回復期の充実を図る地域の方向性と異なる、回復期から急性期への転換を予定する医療機関があるが、どのような対応になるか。

→ 今後、診療内容等を確認した上、必要に応じ調整会議での説明を求めることになる。

○平成30年度からの医療機能の選択において、保険点数による医療機能分類が示されたが、病床機能報告と診療報酬では制度が異なり、病床数の扱いが一致しないことになるが、問題ないか。

→ 保険点数による分類は、地域医療構想に定める必要病床数の推計方法も踏まえ、医療機能選択の一つの目安として示したものであり、病棟単位に病床が担う医療機能を報告する、これまでの取扱いに変更はない。

4 地域医療構想の達成に向けた医療機関の対応方針の決定について

県医療政策課から、地域医療構想の達成に向けた医療機関の対応として、公立病院についても公的医療機関等2025プランを作成し、また、その他の医療機関についても今後の事業計画を策定の上、次回以降の検討部会で協議することを説明した後、徳山中央病院及び徳山医師会病院から、「公的医療機関等2025プラン」の今後の方針及び具体的な計画について、現在の状況も踏まえ説明を行った。

(主な意見・質問等)

○徳山中央病院の感染症病床について、県内病院との役割分担等の補足説明がなされた。

○両病院の方針等について特に意見等はなく、部会として合意した。

5 平成30年度医療機能分化連携推進事業について

県医療政策課から、医療機能分化連携推進事業について説明した後、今年度実施希望を提出している徳山病院から、回復期機能の充実を図る旨の整備目的等について説明を行った。

(主な意見・質問等)

○本申請案件について、本圏域における回復期機能を充実させる方向性との整合等を協議・検討した結果、部会として、在宅復帰に向けた機能強化のため必要との意見で合意した。